

出展させていただいたのはこれで8回目になります。

あくまで僕個人の感覚的なものですが、今年はお客さんと やりとりしやすい ちょうどいい人の流れだったなあ という印象です。  
クラフトフェアはまるっと2年ぶりだったので 普段こつこつと室内で制作している僕らがもともと持っているのは やっぱりライブ感なんだと あらためて感じた2日間でした。

場所取りがあるのはクラフトフェアまつもとの良さだと思っていますので、今回の手順の変更についても要領がわからなかったのでもっと早くこそしましたが、出展作家がどうこう言うものではなく、それなりの効果があったのでしたら よかったと思います。  
確かに後進のクラフトフェアなどでは場所が事前に決まっていたり 搬出入の手順とともに正直出展のしやすさなどは ずいぶん整備されていて負担の軽さはとてもありがたいのも事実です。でもそれはあくまで それら後発のフェアの個性でもあり、それはそれです。  
松本では あがたの森での自然なロケーションの中での自由さが売りですから、逆にらしさがなくなってしまい あちこちのクラフトフェアがどれも同じになってしまうことこそを危惧します。  
いろいろ簡潔にしてしまった方が効率はあがるでしょうが、みんながちょっとずつたいへんなくらいの方が たぶん自分たちでつくっている実感もあって面白いのではないのでしょうか。

そういう意味では、今回 出展場所を端末で見ることが出来るようになったのは嬉しかったです。あれだけはちょっと お客さん(とくに初めての方)の探す負担が大きいかなあと 長らく気になっていましたので。ちょうど 宝の地図 を持たされた感じでよかったのではないかと。  
残念ながら 自分が知ったのは2日目の終盤でしたが、短時間でほかの作家のブースも見に行きたい出展者としてもありがたいツールなので、今後もぜひ続けていただけたらと思います。  
それぞれのHPへリンクもはってあり素晴らしかったです。

HPといえば、多くの作家が自分のサイトをもっているという点では10年前とは状況が一変しています。たとえば 駐車場の問題なども、状況をちゃんとお伝えいただければ、われわれ出展者サイドも作家間で、またお客さんへとよびかけていったりと意識して協力していくことは、もっともっと可能ではないかと思ったりもします。  
といいつつ、自分はフェイスブックもツイッターもインスタグラムもやっていないので偉そうなことは言えませんが、まあ、それぞれのやり方で。  
個々の作家の周辺は小さくとも これだけの出展者がいるわけですから。

個人的なことですが、僕はそこが いつも比較的空いているので ここ数年同じ場所で出展しています。でも 隣り合わせる作家は毎年違います。  
今年は 隣にいた若い初出展の作家が、お客さんの反応を見ながら初日と2日目のレイアウトを変えたりと試行錯誤しながらやっているのをそばで見ている、あらためて初心を思い出すとともに、もっともっと自分も面白い展示をしなければとおおいに反省もしました。  
同時に、もっとあつと言わせるような ものづくりをしてくる若い子が出てこないかなあという願望というか期待もしてしまいます。

ちょっと前まで自分も新人のつもりでいたのですがね…

たまに小さい子と遊んで一緒に何かつくったりすると、こいつ 20年後とかにクラフトフェアに隣で出してそうだなと ふと思ったりもします。

自分もフェアもそれまで続けられたらいいなと思います。

ナカオタカシ

